

令和4年度 関東高等学校水泳競技大会

第73回 関東高等学校選手権水泳競技大会
兼第90回 日本高等学校選手権水泳競技大会関東地域予選会

実 施 要 項

(競泳 ・ 飛込 ・ 水球)

期日 (競泳) 令和4年 7月20日(水)～22日(金) 3日間
(飛込) 令和4年 7月20日(水)～21日(木) 2日間
(水球) 令和4年 7月24日(日)～26日(火) 3日間

会場 千葉県習志野市 千葉県国際総合水泳場 (競泳) (飛込) (水球)

主催 関東高等学校体育連盟・公益財団法人日本水泳連盟
千葉県教育委員会

主管 関東高等学校体育連盟水泳専門部
千葉県高等学校体育連盟・千葉県水泳連盟

後援 (公財) 千葉県スポーツ協会
千葉県習志野市・習志野市教育委員会

1 期 日

- (1) 開 会 式 競泳 令和4年7月20日(水) 9時30分～
 飛込 7月20日(水) 9時30分～
 水球 7月24日(日) 8時30分～
- (2) 競 技 競泳 令和4年7月20日(水)～22日(金) 3日間
 飛込 7月20日(水)～21日(木) 2日間
 水球 7月24日(日)～26日(火) 3日間
- (3) 閉 会 式 競泳 令和4年7月22日(金) 15時30分～(予定)
 飛込 7月21日(木) 15時30分～(予定)
 水球 7月26日(火) 15時30分～(予定)

2 会 場

- (1) 競 泳
 ア 開 会 式 千葉県国際総合水泳場
 〒275-0024 習志野市茜浜2-3-3 TEL:047-451-1555
 (JR京葉線 新習志野駅南口から 徒歩約1分)
 イ 競 技 同 上
 ウ 閉 会 式 同 上
- (2) 飛 込
 ア 開 会 式 千葉県国際総合水泳場
 〒275-0024 習志野市茜浜2-3-3 TEL:047-451-1555
 (JR京葉線 新習志野駅南口から 徒歩約1分)
 イ 競 技 同 上
 ウ 閉 会 式 同 上
- (3) 水 球
 ア 開 会 式 千葉県国際総合水泳場
 〒275-0024 習志野市茜浜2-3-3 TEL:047-451-1555
 (JR京葉線 新習志野駅南口から 徒歩約1分)
 イ 競 技 同 上
 ウ 閉 会 式 同 上

3 参加都県

東京都・茨城県・埼玉県・神奈川県・山梨県・群馬県・栃木県・千葉県(1都7県)

4 競技種目(日程)

(1) 競 泳

ア 種 目

種 目	男	子	女	子
自由形	50m 100m 200m 400m 1500m		50m 100m 200m 400m 800m	
背泳ぎ	100m 200m		100m 200m	
平泳ぎ	100m 200m		100m 200m	
バタフライ	100m 200m		100m 200m	
個人メドレー	200m 400m		200m 400m	
フリーリレー	4×100m 4×200m		4×100m 4×200m	
メドレーリレー	4×100m		4×100m	

イ 競技日程

第1日 7月20日(水)	第2日 7月21日(木)	第3日 7月22日(金)
開会式 9時30分 競技開始 10時00分	競技開始 9時30分	競技開始 9時30分 閉会式 15時30分
No 性別 種目	No 性別 種目	No 性別 種目
1. 女子200m平泳ぎ 予選	25. 女子200m自由形 予選	47. 女子100m自由形 予選
2. 男子200m平泳ぎ //	26. 男子200m自由形 //	48. 男子100m自由形 //
3. 女子 50m自由形 //	27. 女子800m自由形 タイム決勝	49. 女子200m背泳ぎ //
4. 男子 50m自由形 //	28. 女子100m背泳ぎ 予選	50. 男子200m背泳ぎ //
5. 女子200m個人メドレー //	29. 男子100m背泳ぎ //	51. 女子100m平泳ぎ //
6. 男子200m個人メドレー //	30. 女子100mバタフライ //	52. 男子100m平泳ぎ //
7. 女子400m自由形 //	31. 男子100mバタフライ //	53. 女子4×200mフリーレー //
8. 男子400m自由形 //	32. 女子400m個人メドレー //	54. 男子4×200mフリーレー //
9. 女子200mバタフライ //	33. 男子400m個人メドレー //	55. 女子100m自由形 決勝
10. 男子200mバタフライ //	34. 女子4×100mメドレーレー //	56. 男子100m自由形 //
11. 女子4×100mフリーレー //	35. 男子4×100mメドレーレー //	57. 女子200m背泳ぎ //
12. 男子4×100mフリーレー //	36. 男子1500m自由形 タイム決勝	58. 男子200m背泳ぎ //
13. 女子200m平泳ぎ 決勝	37. 女子200m自由形 決勝	59. 女子100m平泳ぎ //
14. 男子200m平泳ぎ //	38. 男子200m自由形 //	60. 男子100m平泳ぎ //
15. 女子 50m自由形 //	39. 女子100m背泳ぎ //	61. 女子4×200mフリーレー //
16. 男子 50m自由形 //	40. 男子100m背泳ぎ //	62. 男子4×200mフリーレー //
17. 女子200m個人メドレー //	41. 女子100mバタフライ //	
18. 男子200m個人メドレー //	42. 男子100mバタフライ //	
19. 女子400m自由形 //	43. 女子400m個人メドレー //	
20. 男子400m自由形 //	44. 男子400m個人メドレー //	
21. 女子200mバタフライ //	45. 女子4×100mメドレーレー //	
22. 男子200mバタフライ //	46. 男子4×100mメドレーレー //	
23. 女子4×100mフリーレー //		
24. 男子4×100mフリーレー //		

※1 リレー種目の決勝の前に、表彰式終了後10分程度の休憩を入れる。

※2 予選・決勝ともに10レーンで行い、リレー競技は予選8レーン決勝10レーンで行う。
タイム決勝は10レーンで行う。

※3 予選競技はオーバーザトップ方式で行う。

(2) 飛込

ア 競技種目

(ア) 男子の部

- ・3m飛板飛込 11演技種目
制限選択飛 (難易率合計9.5以内) 各群より5演技種目
自由選択飛 各群より6演技種目
(各群より、但しこの内1種目はいずれの群より選択しても良い)
- ・高飛込 10演技種目
制限選択飛 (難易率合計7.6以内) 異群より4演技種目
自由選択飛 各群より6演技種目

(イ) 女子の部

- ・ 3m飛板飛込 10 演技種目
制限選択飛 (難易率合計 9.5 以内) 各群より 5 演技種目
自由選択飛 各群より 5 演技種目
- ・ 高飛込 9 演技種目 (5 つ以上の群より)
制限選択飛 (難易率合計 7.6 以内) 異群より 4 演技種目
自由選択飛 異群より 5 演技種目

イ 競技方法

- (ア) 参加選手 16 名以上の競技種目は予選を行う。
 - (イ) 予選における演技種目は自由選択飛とする。
 - (ウ) 決勝進出者は予選上位 12 位までの選手とする。
 - (エ) 決勝は、各種目とも、それぞれの制限選択飛、自由選択飛の全種目で行う。
 - (オ) 順位の設定は決勝の得点合計によって行う。
- ※飛込は「ダイブシート」を予選、決勝各々 1 通、自分が行おうとする飛込演技番号・型・高さ・難易度を記入して、当該競技の前日 (12 時～15 時) の間に、飛込プールサイドに設置してある箱に入れること。なお、「ダイブシート」は公益財団法人日本水泳連盟指定の用紙を公益財団法人日本水泳連盟ホームページよりダウンロードして使用すること。

ウ 競技日程

第 1 日	7 月 20 日 (水)	競技開始	10 時 00 分	女子飛板飛込 予選・決勝
				男子飛板飛込 予選・決勝
第 2 日	7 月 21 日 (木)	競技開始	9 時 30 分	女子高飛込 予選・決勝
				男子高飛込 予選・決勝

(3) 水 球

競技日程

第 1 日	7 月 24 日 (日)	競技開始	9 時 30 分	1 回戦 4 試合	2 回戦 4 試合
第 2 日	7 月 25 日 (月)	競技開始	9 時 00 分	2 回戦 4 試合	3 回戦 4 試合
第 3 日	7 月 26 日 (火)	競技開始	9 時 00 分	準決勝 2 試合	3 位決定戦 決勝

5 競技規則

2022 年度公益財団法人日本水泳連盟競技規則による。

6 競技方法

学校対抗とし、選手権獲得校の決定方法は、下記による。
(競泳男子・女子、飛込男子・女子、水球男子 5 部門)

(1) 競 泳

個人種目は 1 位 8 点、2 位 7 点、…… 8 位 1 点、リレー種目は 1 位 16 点、2 位 14 点、…… 8 位 2 点とする。同着の場合は、その順位の得点をそれぞれに与える。総合得点の最も多い学校を優勝校とする。

総合得点と同じ場合は、次の順序に従って順位を決定する。

- ア リレーによる得点の多い学校。
- イ 入賞者数の多い学校。(但し、リレーは 4 と計算する。)
- ウ 1 位の数。
- エ 2 位の数。(以下、8 位までこれにならう。)

(2) 飛 込

各種目は 1 位 8 点、2 位 7 点、3 位 6 点…… 8 位 1 点とし、得点の最も多い学校を優勝校とする。総合得点と同じ場合は、次の順序に従って順位を決定する。

- ア 入賞者数の多い学校。
- イ 1 位の数。
- ウ 2 位の数。(以下、8 位までこれにならう。)
- エ 当該入賞者の得点の平均点が高い者のいる学校。(平均点は、小数点第 3 位を四捨五入し、小数点第 2 位まで算出する。)
- オ 当該入賞者の得点の中で、1 種目について最も高い数値を得た者のいる学校。

- (3) 水 球
 - ア 全試合をトーナメントで行う。(3位決定戦も行う。)
 - なお、前年度成績上位4チームをシードし、組合せは公開抽選を行う。
 - イ 1回戦から準々決勝までは7分4ピリオドで実施する。準決勝および3位決定戦・決勝は8分4ピリオドで実施する。
 - ウ 全試合、同得点の場合は、延長戦を行わず、ペナルティー・スロー戦で勝敗を決定する。

7 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒は除く。
- (2) 選手は、都県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該競技専門部に登録し、2022年度公益財団法人日本水泳連盟競技者登録を完了した者に限る。
- (3) 年齢は、平成16年4月2日以降に生まれたものとする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) チームの編成において、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (6) 転校後1年未満の者は、参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる) 但し、一家転住等やむを得ない場合は、各都県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
- (7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する都県高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例
 - ア 上記(1)及び(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、都県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - イ 上記(3)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】

- 1 学校教育法第72条、第115条、第124条、第134条の学校に在籍し、都県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - ①大会参加資格を認める条件
 - ア 関東高等学校体育連盟の目的を理解し、尊重すること。
 - イ 参加を希望する専修学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあつては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ 各学校にあつては、都県高等学校体育連盟の予選会からの出場が認められ、関東大会への出場条件が満たされていること。
 - エ 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
 - ②大会参加に際し守るべき条件
 - ア 関東高等学校体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申合せ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。
- (9) 前記(1)～(8)の他、次の項によって参加資格を得た者。
 - ア 競泳は各都県主催団体の予選会の成績で、各種目決勝第8位までの入賞者またはチーム(但し、4位、5位、6位、7位、8位については別記関東大会の標準記録を突破した者に限る)とする。なお、予選・決勝を問わず、全国大会標準記録を突破した者は主催団体の推薦を経てその種目を申し込む。
 - 注1 個人種目では、必ず標準記録を突破しなければならない。途中時間やりレーの第1泳者による正式時間の記録では標準記録の突破とは認められない。
 - イ 関東大会出場資格特別措置
 - 現在の参加資格に特別措置として次の項目を追加する。

(特別措置)

選手が国際大会などの代表に選ばれたため、予選会（都県大会）に出場できない場合は、予選会（都県大会）への出場を免除する。リレー種目についても、代表選手がチームの一員として出場した当年度（4月2日以降）長水路の公式記録を採用して、標準記録を突破しているチームと認められた場合、同様の措置を適用する。但し、その理由書を都県委員長に提出すること。届出者は、当該学校長とする。このことに関しての出場措置は、次のように行う。

- ① 予選会（都県大会）不出場、関東大会出場の場合は、予選会（都県大会）8位まで（標準記録突破者）＋派遣選手とする。
- ② 予選会（都県大会）出場、関東大会不出場の場合は、下位選手の操上げを行い、関東大会の出場者を8名以内（標準記録突破者）とする。

ウ 飛込は各都県主催団体の推薦を経て各都県高等学校体育連盟水泳専門部の締切に間に合うように申し込む。

エ 水球は各都県主催団体の承認を経て下記チーム数だけ申し込む。（参加チーム数を超える都県は予選会を行い、上位より参加チームを決定する）

埼玉県 3チーム 千葉県 4チーム 東京都 4チーム 茨城県 3チーム
 栃木県 1チーム 神奈川県 2チーム 山梨県 1チーム 群馬県 2チーム
 （合計 20 チーム）

オ 同一大会においては、本部の規約で重複エントリーは禁止されている。

8 引率・監督について

- (1) 出場チームの選手は必ず引率責任者によって引率される。
引率責任者は選手のすべての行動に対し、責任を負うものとする。
- (2) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。
個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、都県高等学校体育連盟会長に事前に届け出ること。
- (3) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。
但し、各都県における規定が定められ、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であれば、その規定に従うことを原則とする。

9 参加制限

- (1) 競泳は1校1種目3名以内、1名2種目以内（但し、リレー種目を除く）。
- (2) フリーリレーは参加資格を得た4名と補員を2名、メドレーリレーは参加資格を得た4名と補員を4名申し込むことができる。参加資格を得た4名と補員が出場できるのは、申し込んだ種目に限定され、他のリレー種目に出場出来ない。但し、個人種目で関東大会に出場している者は、フリーリレー並びにメドレーリレーに出場することができる。
（参加資格を得た4名とは、決勝で関東大会参加標準記録を切り8位以内に入ったチーム並びに予選で全国大会標準記録を切ったチーム。但し、決勝での記録とメンバーを優先する。）
- (3) 飛込は1校1種目3名以内、1名2種目以内とする。
- (4) 水球は1チーム監督1名、選手13名以内とする。

10 参加申込（R4より表記を変更）

(1) 申込書類

	参加校	専門部	記録競泳担当	記録飛込担当
A 参加種目別一覧表及び学校長認知書（男・女別、競技種目別） （3部提出 ①開催都県、②都県高等学校体育連盟事務局、③専門部控え）	○			
B 水球チーム別参加申込書（申込書と同じ番号の帽子を試合で着用） （3部提出 ①開催都県、②都県高等学校体育連盟事務局、③専門部控え） ※別に、「チーム紹介」を写真付きデータで提出する。	○			
C 競泳種目別提出書類（リザルトより印刷）			○	

D 飛込（男・女別）種目別参加申込書 （3部提出 ①開催都県、②都県高等学校体育連盟事務局、③専門部控え） ※参加校はWeb-swmsysへログインし、関東大会へエントリー入力すること。 ※別に「出場選手名」「所属校名」「出場種目」「顔写真」（ﾀ5×ｺ4cm） A4用紙サイズにまとめたものをデータで提出する。				○
E 参加校別選手数一覧表及び参加料納入書 （学校名は正式名称で入力すること。振込通知書の写しを添付）		○		
F エントリーデータ （開催都県の情報担当者へのメールで送信）（1）～（3）のデータ			○	

(2) 申込方法：参加校は、各書類を各都県専門委員長へ提出し、各都県専門委員長は各書類を一括して関東大会主管団体に送付すること。

◆開催都県送付書類

○書類送付先	書類で提出するもの
〒273-0002 千葉県船橋市東船橋6-1-1 千葉県立船橋高等学校 石井 慎吾 TEL 047-422-2188 FAX 047-426-0422	A 参加種目別一覧表及び学校長認知書 B 水球チーム別参加申込書 C 競泳種目別 提出書類（2種類） ①各都県予選会の標準記録突破者一覧 ②関東大会申込用に 開催県と親子 設定したWeb-swmsysのデータ を各都県で作成した関東大会の仮リザルトに取り込み、印刷した種目別参加一覧 D 飛込（男・女別）種目別参加申込書 E 参加校別選手数一覧表及び参加納入書（振込通知書の写しを添付）
○エントリーデータ送付先	データで送るもの
情報担当 千葉県高体連水泳専門部 千葉県立流山高等学校 生方 康雄 E-Mailアドレス (y_ubkt2@yahoo.co.jp)	E 参加校別選手数一覧表及び参加納入書 (データ) （学校名は正式名称で入力すること） F エントリーデータ (1) 予選会のリザルト m d bファイル (2) 関東大会申込用に 開催県と親子 設定したWeb-swmsysで再エントリーしたWeb-swmsysのデータ。 (できれば「リレーエントリー.xls」によって、リレー種目補員データを入力してください。) (3) (2) 集計時にWeb-swmsysよりダウンロードできる 「所属団体一覧表」、ファイル名は「dantai.csv」としてダウンロードされるファイル。 （学校名を正式名称で入力すること）
飛込担当 千葉県高体連水泳専門部 千葉県立柏南高等学校 工藤 由佳 E-Mailアドレス (gokuchan1985@yahoo.co.jp)	D 飛込（男・女別）種目別参加申込書 (データ) ※参加校はWeb-swmsysへログインし、関東大会へエントリー入力しておくこと。 ※プログラム掲載用データ 「出場選手名」「所属校名」「出場種目」「顔写真」（ﾀ5×ｺ4cm）をA4用紙サイズ
水球担当 千葉県立君津高等学校 高浦 正瑛 E-Mailアドレス (Kimiko.taka.2016@gmail.com)	※プログラム掲載用データ 「出場チーム」写真データ

(3) 申込締め切り

競泳、飛込、水球ともに令和4年 **6月30日（木）必着（データ）**
※書類は7月1日までにレターパック（赤）にて郵送必着。

11 参加料

[競泳・飛込] 1名につき 3,000円

[水球] 1チーム 30,000円

※ 主管団体は、一括して下記振込先に送金すること。

京葉銀行 稲毛海岸店 店番号 445

普通預金 No. 445-6773891

令和4年度関東高等学校水泳競技大会事務局 会計 澤田石 賢

※参加料についての連絡先

〒263-0005 千葉県千葉市稲毛区長沼町153番地

千葉県立千葉北高等学校 澤田石 賢

TEL 043-257-2753 FAX 043-258-7884

12 表彰

優秀な成績を収めた者を表彰する。表彰は各競技会場で行う。

(1) 競泳

ア 各種目の第8位までに賞状を授与し、その栄誉を称える。表彰式への参加者は第3位までとする。

イ リレー種目優勝チームには持ち回りの優勝杯を贈る。

ウ 総合成績

男女とも第8位までの学校に賞状を授与し、その栄誉を称える。優勝校には持ち回りの優勝杯を公益財団法人日本水泳連盟より贈る。閉会式への参加者は第8位までとする。

エ 前年度優勝校にはレプリカを授与する。

(2) 飛込

ア 各種目の第8位までに賞状を授与し、その栄誉を称える。表彰式への参加者は第3位までとする。

イ 総合成績

男女とも第8位までの学校に賞状を授与し、その栄誉を称える。優勝校には持ち回りの優勝杯を公益財団法人日本水泳連盟より贈る。閉会式への参加者は第8位までとする。

ウ 前年度優勝校にはレプリカを授与する。

(3) 水球

ア 第4位までの学校に賞状を授与し、その栄誉を称える。表彰式への参加は第4位までとする。

イ 優勝校には持ち回りの優勝杯を公益財団法人日本水泳連盟より贈る。

ウ 前年度優勝校にはレプリカを授与する。

13 水球組合せ抽選会

令和4年7月2日（土）14時より、千葉県国際総合水泳場・会議室において公開抽選を行う。

14 宿泊 別紙大会宿泊要項による。

15 監督者会議

[競泳] 令和4年7月19日（火）16時00分 会場：トーセイホテル&セミナー幕張（会議室）

[飛込] 令和4年7月19日（火）16時00分 会場：千葉県総合国際水泳場（会議室）

[水球] 令和4年7月23日（土）16時00分 会場：千葉県総合国際水泳場（会議室）

16 事務局

○競泳の事務局 〒273-0002 千葉県船橋市東船橋6-1-1

千葉県立船橋高等学校 石井 慎吾（いしい しんご）

TEL 047-422-2188 FAX 047-426-0422

○飛込の事務局 〒277-0033 千葉県柏市増尾1705
千葉県立柏南高等学校 工藤 由佳 (くどう ゆか)
TEL 04-7173-2101 FAX 04-7172-7600

○水球の事務局 〒299-1142 千葉県君津市坂田 454
千葉県立君津高等学校 高浦 正瑛 (たかうら まさあき)
TEL 0439-52-4583 FAX 0439-55-7819

17 全国大会への参加資格

各地域大会における以下の成績の者またはチームは、各都道府県高等学校体育連盟及び加盟団体の推薦を得て全国大会に出場することができる。

(1) 競 泳

ア 地域大会において、各決勝種目の第3位までの入賞者、またはチーム。

イ 地域大会において、予選及び決勝を問わず全国大会の標準記録を突破した者、またはチーム。
なお、同タイムも含むものとする。

〈ア、イの確認事項〉

注1 個人種目では、必ず標準記録を突破しなければならない。途中時間やリレーの第1泳者による正式時間の記録では標準記録の突破とは認められない。

注2 都道府県大会の記録で出場することは認められない。

注3 決勝における正当な理由のない棄権者の参加は認めない。

注4 フリーリレー及びメドレーリレーは、地域大会における予選・決勝で出場資格を得たメンバーの中から4名と、別に補員1名を申し込むことができる。参加資格を得た4名と補員が出場できるのは、申し込んだ種目に限定され、他のリレーには出場できない。但し、競技の際は個人種目に出場する者と交代させることができる。

ウ 各都道府県特別措置

地域大会において、全国大会の出場資格を得なかった都道府県は、男女各1名を1種目のみ、出場資格者として各都道府県の高等学校体育連盟及び加盟団体で推薦することができる。出場資格者の男女一方が欠けている場合は、欠けている方について1名1種目の推薦を認める。

注1 推薦は、自由形・背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライの100m・200m及び200m個人メドレー、50m自由形の種目中から、地域大会において全国大会の標準記録に最も近い記録の者とする。

エ 全国大会開催都道府県特別措置

開催都道府県で、自由形・背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライの100m・200m及び200m個人メドレー、50m自由形の種目において出場者を得られなかった場合は、地域大会の上記該当種目に出場した最上位の者、男女各1名を、大会出場者として全国大会開催都道府県の高等学校体育連盟及び加盟団体で推薦することができる。

※ 北海道は、1道1地域のため、ウ及びエの特別措置の対象とはならない。

オ 全国大会特別出場措置

選手が国際大会などの代表選手に選ばれたため、予選会に出場することができない場合は、予選会への出場を免除する。リレー種目についても、予選会において代表選手がチームの一員として出場し、全国大会標準記録を突破しているチームと認められた場合、同様の措置を適用する。但し、その理由書を都道府県委員長に提出すること。届出者は、当該学校長とする。

このことに関する出場措置は、次のように行う。

① 予選会不出場、全国大会出場の場合は、地域大会3位まで + 派遣選手とする。

② 予選会出場、全国大会不出場の場合は、繰上げを行い、地域の出場者を3名とする。

(注) 各都道府県内の予選会から、代表選手を参加制限の人数の中に含まなければならない。

《リレー種目について》

③ 当年度(4月2日以降)長水路の公式記録を採用する(各個人の合計記録は認めない)

④ チームとしては、都道府県予選会、地域大会に出場する。地域大会の記録を優先し、突破できなかった場合に適用する。(代表選手が出場した場合は除く)

カ 競泳の標準記録

		関東大会		全国大会	
		男子	女子	男子	女子
自由形	50m	25.99	28.89	* 24.09	27.15
	100m	56.79	1:01.79	* 52.45	58.81
	200m	2:06.39	2:14.49	* 1:54.51	* 2:06.83\
	400m	4:27.19	4:49.19	4:03.47	* 4:26.41\
	800m	-----	10:09.29	-----	9:11.13
	1500m	17:32.69	-----	16:16.25	-----
背泳ぎ	100m	1:03.99	1:11.19	59.03	* 1:05.08\
	200m	2:22.29	2:33.39	2:08.74	* 2:19.56\
平泳ぎ	100m	1:11.69	1:19.79	* 1:04.42	* 1:12.84
	200m	2:38.39	2:54.89	* 2:19.22	* 2:35.71
バタフライ	100m	1:01.69	1:08.49	* 56.03	* 1:02.68
	200m	2:21.29	2:36.29	* 2:04.05	2:18.19
個人メドレー	200m	2:21.59	2:32.59	* 2:08.20	2:22.63
	400m	5:11.49	5:39.29	4:33.44	5:03.14
リレー	4×100m	3:58.49	4:24.19	3:36.31	4:02.26
	4×200m	8:29.29	9:54.59	7:52.81	8:45.98
メドレーリレー	4×100m	4:27.79	4:56.09	3:56.68	4:26.16

(2) 飛込

ア 地域大会において、各競技種目の第1位の者。

イ 標準点数を突破した者（同点可）。

※審判員は各ブロックにおける、A級またはB級審判員によって構成される。

ウ 標準点数

種目/性別	男子	女子
飛板飛込(3m)	11演技 323.00	10演技 285.00
高飛込	10演技 288.00	9演技 260.00

エ 全国大会開催都道府県特別措置

地域大会において、開催都道府県に出場資格者がいない場合、その該当競技種目において成績上位の選手男女各1名を、全国大会開催都道府県の高等学校体育連盟及び加盟団体で推薦することができる。

オ 全国大会特別出場措置

国際水泳競技大会の代表選手は、都道府県・地域大会を経なくとも出場できる。

- ① 予選会不出場、全国大会出場の場合は、地域大会出場者枠 + 派遣選手とする。
- ② 予選会出場、全国大会不出場の場合は、繰上げを行い、地域大会出場枠の人数とする。

カ シンクロナイズド飛込(公開競技)

- ① 男女シンクロナイズド3m飛板飛込を公開競技として行う。学校得点には加算しない。
- ② 参加資格は、各地域から男子・女子それぞれ2チームとする。但し、当該種目の標準点を2名とも個人で突破していること。
- ③ 1位から3位までに入賞した地域は、次年度の出場権を得たものとする。(次年度は3チームの参加が認められる。)ただし、令和4年度の大会については令和元年度の大会の結果を用いる。
- ④ 詳細については、地域大会で通知する。

(3) 水球

ア 地域大会の成績によって次のチームが本大会に出場できる。

北海道・東北	上位2位まで	関東	上位4位まで	北信越	上位2位まで
東海	上位2位まで	近畿	上位3位まで	中国	上位2位まで
四国	上位1位まで	九州	上位3位まで		

イ 上記チームの他、主催都道府県にチームがある場合は、主催都道府県枠として1チームを加えることができる。

注1 主催都道府県枠のチーム選考は、地域大会の成績により決定する。

注2 地域大会において、主催都道府県枠のチームが地域枠に入った場合は、地域大会の順位が地域枠の次の順位のチームを繰上げ、地域枠 + 1チームとする。

ウ 地域大会出場チーム数がアの数に満たない場合でも試合を行い、順位を決める。

エ 主催都道府県のチームが不出場の場合並びに地域予選に出場するチーム数が地域枠に満たない場合は、公益財団法人全国高等学校体育連盟水泳専門部と公益財団法人日本水泳連盟において協議し、全国大会は20チーム参加とする。

オ 地域大会において、災害や気象条件等により正式な出場権決定戦が実施できない場合は、公益財団法人全国高等学校体育連盟水泳専門部の確認事項に基づき、関係するチームが不利にならないよう試合条件を変更して出場権を決定することが出来る。
試合実施の可否については各地域大会主幹県実行委員会において判断する。

18 練習会場・日程

[競泳]	7月19日(火)	千葉県国際総合水泳場・メイン、サブプール
		9時00分～18時00分
[飛込]	7月19日(火)	千葉県国際総合水泳場・ダイビングプール
		10時00分～16時00分
[水球]	7月23日(土)	千葉県国際総合水泳場・メイン、ダイビングプール
		11時00分～16時00分

19 会場開・閉門時間

(1) 会場開門時間

[競泳]	7月20日(水)～22日(金)	午前7:50
[飛込]	7月20日(水)～21日(木)	午前7:50
[水球]	7月24日(日)～26日(火)	午前8:00

(2) 会場閉門時間

各競技終了後1時間を原則とする。

20 連絡事項

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止或いは延期、又は、種目・順序等の開催方法を変更させて頂く可能性があります。
- (2) 競技中の疾病・負傷等の応急処置は主催者側において行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。
- (3) 開会式への出場選手は各都県より男女各5名とし、各都県の委員長が代表して出席する。また、閉会式は、各都県の委員長が代表して出席する。
- (4) 宿泊斡旋を受けずに、各校で宿泊の予約を取ることは禁止する。

21 会場使用についての注意事項

【会場共通】

- (1) 貴重品の管理は各校で行うこと。また、更衣室等では私物の管理を徹底すること。
- (2) ロッカーは、鍵をかけず、ロッカールームに荷物などは絶対に放置しないこと。
- (3) 選手、監督等のADカードは、会場受付にて配布する。選手及び監督は必ずADカードを首からさげること。
- (4) 会場内でビデオ・カメラを撮影する場合は、通行の妨げにならない場所で使用すること。
※撮影許可書の発行はしない。
- (5) 各会場（観客席・更衣室・ロッカー・トイレ・選手控所等）を利用するときは、整理整頓に努め、ゴミは、原則として持ち帰ること。
- (6) プールエリアは履物の使用を禁止する。
- (7) スタンドの使用（バックヤードを含む）については都県毎に割り振りを行い、各種目の開催期間中は同じエリアを使用する。

【千葉県国際総合水泳場から】